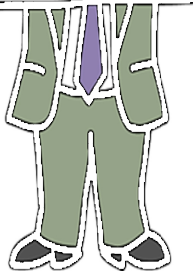


吉田喜一
教授の
ものづくり
工学便り



高専出身の小説家

都立産業技術高専名誉教授 吉田喜一

昨年度の直木賞は安部龍太郎さんの『等伯』という小説でした。戦国時代の絵師・長谷川等伯の物語です。狩野派や織田信長との確執・戦いが鮮やかに描かれています。

私が注目したのは、この作家が、北九州高専・機械工学科の卒業生ということでした。五十五年生まれで今五十九歳です。高専在学中から創作活動をしていたようです。

卒業後、世田谷区役所に勤めながら、小説を書いたそうです。しかし、29歳で退職し創作活動に専念したとのこと。以後奥さんの稼ぎだけが頼りになり、お子さんの保育園の送迎など主夫生活になったとのこと。『薩摩燃ゆ』、『生きて候』などたいへん面白い小説をたくさん書いておられます。

この安部さんの受賞をきっかけに、高専卒業生で小説家になった方を調べてみました。内山安雄さんは五十一年生まれ（六十三歳）で苫小牧高専・工業化学科の出身です。小説の裏表紙の略歴を見ると慶応大学・文学部卒と書かれていて、高専出身とはすぐにわかりませんが、ご本人の言葉を紹介します。

『私は北海道の苫小牧高専を卒業していま

す。5年間、工業化学科で学んだのですが、陸上部に所属し、長距離にかけた学生生活でもありました。毎日最低でも10キロ走ることを自分に課していました。

写真では整備のために草ぼうぼうですが、ここが16才の時から来る日も来る日も走り続けたグラウンドです。その後、方向転換して大学に学ぶのですが、苫小牧高専こそが人生の、物書きになる全てを教えてくださいました。下の写真は、駅伝で5人をごぼう抜きにした時のものです。

大学在学中から世界各地を放浪し、ラジオ、テレビリポーター、放送作家、雑誌記者などを経て小説家になったとのこと。乙一（おつ・いち）さん（七十八年生まれ、現在三十六歳）は久留米高専・材料工学科卒業後、編入で豊橋技術科学大学・エロロジー工学課程に進んだとのこと。作品は残酷さを基調としたものと、切なさを基調としたものの、二つの傾向があります。最近はどこかに偏る作品がなくなってきました。

高専卒業生ではないのですが、高専卒業生を描いている小説家もいます。東野圭吾さんです。ご自身は大阪府立大・電気工学科出身ですが、『秘密』（広末涼子主演の映画にもなりました）、『幻夜』は高専卒業生が主人公です。

余談ですが、漫画家の稲田浩司さん（六十四年生まれ、現在五十歳）は航空高専（日暮里出身）卒業生です。



メガネの
祐一郎君の
アドバイス

消費生活アドバイザー
佐藤 祐一郎

「間違いだらけ」の メガネ&メガネ店選び

こんにちは。メガネのサトウ4代目

です。先日、ネット上で興味深い記事

を見つけました。「消費者は注意！電

動アシスト自転車の下がりは喜んで

ばかりいられない」というタイトルで、

業界関係者が「電動アシストまで、安

かろう・悪かろうが横行するママチャ

リの末路をたどり始めた。遠くない将

来、ただ価格が安いだけで、半年も乗

ればモーターが故障する粗悪品が市場

を席卷するだろう。」と嘆く声を紹介

するものでした。これを読んで、私は

メガネも同様なのではないかと危惧し

ています。

ここ数年、メガネは安くなったと言

われています。「企業努力」による価

格低下ならば、消費者にとっては喜ば

しいことのように思います。けれども、

中には消費者を欺いているとしか言い

ようのない店舗・企業も散見され、同

業者として残念な気持ちになることも

あります。例えば、流行の低価格を謳

う店のメガネを、私も参考までに一つ

購入したことがあります。使ってみ

ると品質はやはり価格相応でした。ま

た、「〇〇種類のレンズが均一価格・

追加料金0円」などと謳って、景品表

示法で禁止されている「優良誤認表示」

ギリギリのことを行う店もありますが、実はその中で売れ筋のレンズはもともと比較的安価で販売されている普及品で、消費者に「均一価格だから安心、おトク！」という錯覚を起こさせていたりします。これもある意味、「企業努力」によるイメージ戦略なのかもしれません？

気がかりなのは、削ってはいけない「技術・教育」や「接客・検査・加工製作」に関わるコストを削ってまで、薄利多売で利益を求めめる店舗・企業があることです。本来、メガネは視力矯正を目的とした「一般医療機器」に相当し、知識と経験を生かして慎重に提供すべき商品です。先日私が受講したセミナーで、医療系専門学校の先生は、「こうした店では、過矯正（強すぎで疲れてしまう）や、精度の悪い（レンズがゆるい、中心がずれている、など）メガネが世に送り出されている。」と心配していました。安く大量に売らんがために、必要最低限の知識しか持たないスタッフが、機械任せで通りいっぺんの検査や加工を行っているためと思われず。

自転車やメガネに限らず、安物買いの何とやらには、私も精々気を付けたと感じています。当店では、無駄の削減や仕入れの工夫などを通じて、コストを抑え、ご愛顧賜っている皆さまに喜んで頂けるよう、これからも頑張ります！

